

# The 6th Decorated Terra-cotta Concours

## 《屋根・庭のオブジェ》 第6回 飾り瓦コンクール 応募方法について

**課題** 高さ・幅・奥行きともに50cm以内とした、屋根・庭園・室内などに設置可能な「飾り瓦」とします。  
**厳守①** 展示・焼成などの都合により、サイズは厳格にお守り下さい。  
**厳守②** 対になるような組作品は、2個までとします。  
**厳守③** 焼き物作品以外(木の台・造花・電球など)は、提出しないで下さい。

**応募資格** 瓦製造業者・一般社会人・学生(美術・陶芸・彫塑などの専攻)

**応募登録** 作品の提出、応募用紙の提出、登録料の納付をもって、正式応募者として登録します。  
 登録料 …… 1作品 2,000円  
 振込みの場合は、下記宛をお願いします。  
 岡崎信用金庫 高浜支店 普通預金 3163880  
カザ ガワ 飾り瓦コンクール実行委員会会計 カミヤ シン 神谷 晋

**材料代** 作品制作用粘土を希望の方は、約15kgをお送りしますが、材料代・送料として3,000円を申し受けれますので、希望者は事務局までお申し出下さい。

**応募用紙** 応募の方は、応募用紙を切り取って提出、または送付して下さい。

**作品提出** ① 作品提出の受付は、平成23年8月22日(月)～10月7日(金)の間(土・日・祝日を除く)、「飾り瓦コンクール事務局」で受付けます。(郵送などの場合は、期限消印有効)  
 なお、「飾り瓦コンクール事務局」に焼成を依頼される場合の提出期限は、平成23年9月30日までといたしますので、ご注意ください。  
 ② 作品を提出は、応募用紙に必要事項を記載の上、登録料を添え、「飾り瓦コンクール事務局」まで、作品を焼成した状態で提出して下さい。なお、応募者本人で作品焼成できない場合は、「飾り瓦コンクール事務局」で焼成を代行しますので、応募用紙にその旨、記入して下さい。(焼成を依頼される場合の作品提出は、作品(粘土)が十分に乾燥した状態で提出して下さい)  
 ③ 焼成依頼のあった作品の焼成・管理には細心の注意をいたしますが、不可抗力による作品の損傷などについては、責任を負いかねますので、予めご了承下さい。(宅配便などで作品を送付されますと、破損の可能性があるため、できる限り応募者本人が直接ご持参下さい。遠隔地でやむを得ず送付される方は、梱包には充分注意して下さい)

**作品引取** 平成23年11月22日(火)以降となります。

**焼成方法** 事務局で作品焼成を希望される方は、焼成方法の選択ができますので、希望方法を応募用紙に明記して下さい。  
 ① いぶし —— いぶし銀色になります。  
 ② 素焼き —— 粘土を焼成しただけの赤っぽい色になります。  
 ③ 釉薬 —— 色は黒色、茶色になりますので、希望の色を選択して下さい。

**作品審査** 作品審査は、23年10月15日(予定)に実施いたします。作品審査は、「伝統技術部門」と「現代陶芸部門」に分けて審査しますので、応募用紙の応募区分欄を必ず選択して下さい。

**審査委員** 名古屋芸術大学教授……………神戸峰男  
 名古屋造形大学教授……………坪井勝人  
 愛知県立芸術大学教授……………大塚道男  
 陶芸家……………神谷英介  
 陶芸家……………森 克徳  
 高浜市やきもの里かわら美術館館長……………井口喜晴  
 碧南市藤井達吉現代美術館館長……………木本文平  
 鬼師……………梶川亮治  
 鬼師……………加藤元彦

**賞** 大賞(グランプリ)……………1点——賞状・賞金20万円  
 伝統技術優秀賞……………1点——賞状・賞金10万円  
 現代陶芸優秀賞……………1点——賞状・賞金10万円  
 市長賞(高浜市・碧南市)……………2点——賞状・賞金 5万円  
 特別賞……………数点——賞状・賞金 1万円

**作品展示** 作品展示は、平成23年11月15日(火)～20日(日)の間、高浜市やきもの里かわら美術館で開催します。  
 444-1325 愛知県高浜市青木町九丁目6番地18  
 tel: 0566-52-3366 fax: 0566-52-8100

**表彰式** 表彰式は、平成23年11月15日(火)午前10時より、高浜市やきもの里かわら美術館で開催しますので、入賞者はご参加下さい。

**お問合せ** 飾り瓦コンクール事務局  
 444-1323 愛知県高浜市田戸町一丁目1番地1  
 愛知県陶器瓦工業組合内  
 tel: 0566-52-1200 fax: 0566-52-1203  
 ※ 天災などの諸般の事情により、やむを得ず開催を中止する場合がありますので、ご承知おき下さい。



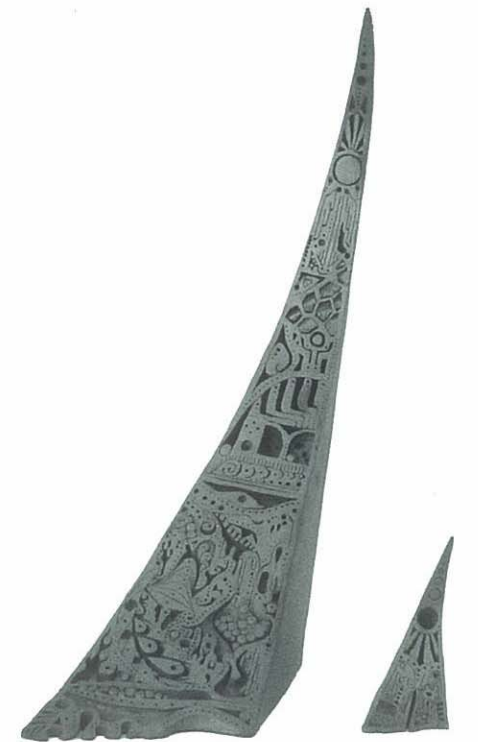
第5回毎日新聞社賞 / 山下 敦



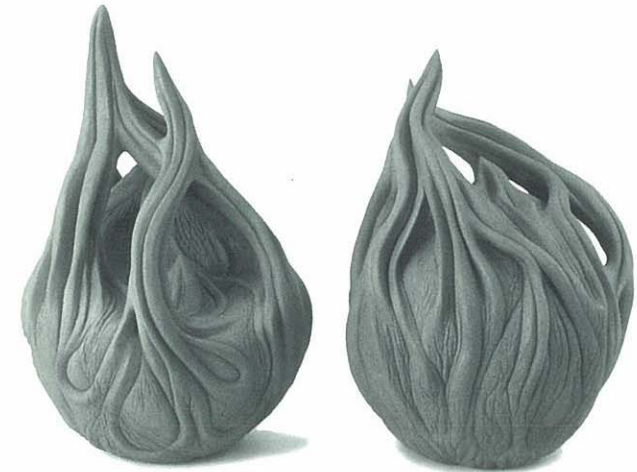
第5回高浜市長賞 / 井戸理陽

### 飾り瓦制作上の諸注意

- 準備** ① 粘土  
 ● 制作する作品の大きさに応じた粘土量があるかどうかを確認する。  
 目安: 50×50×50 cm ならば——15kg 程度
- 作品の大きさは上記寸法で制作しても、焼成後10%程度小さくなることを予めご承知おき下さい。
- ② 制作用下板  
 ● 制作する作品よりひと廻り大きめの板を用意し、以後の作業は焼成まで、この板の上で進めていただくとう便利です。
- ③ 道具  
 ● 木べら・金べら・かきやぶり(なければフォークでも可)
- 粗作り** ● 作品の外形を作ります。粘土は塊のままでは乾燥時、焼成時に割れる可能性が大きくなります。これを防ぐためには、中空構造とし、肉厚をできるだけ均一に仕上げてください。肝要です。  
 目安: 20～25mmが適当です。  
 ● 密閉構造では焼成時に破裂してしまう恐れがありますので、作品の下端・裏面などに直径30～50mm程度の空気穴を複数開けておくとう良いでしょう。  
 ● 土と土の部品を接合する場合には、かきやぶり(フォークでも可)で双方の接合面を格子状に刻み、刷毛などで水を付けて密着させて下さい。焼成時に破損する恐れがありますのでご注意ください。
- 一次乾燥** ● 「粗作り」が終了したら、3日～1週間程度、一次乾燥させます。乾燥に関しては、作品に直接風が当たらないように注意する(切れやすくなるのを防止する)とともに、直射日光を避け、「日陰干し」をして下さい。
- 仕上げ** ● 一次乾燥が終了したら仕上げにかかります。道具を利用して、作品を仕上げていきます。
- 二次乾燥** ● 作品が完成したら、焼成前に2～3週間自然乾燥させます。乾燥の注意事項は、一次乾燥の時と同様です。
- その他** ● 三河土で自ら焼成する場合は、1100℃前後で焼成して下さい。



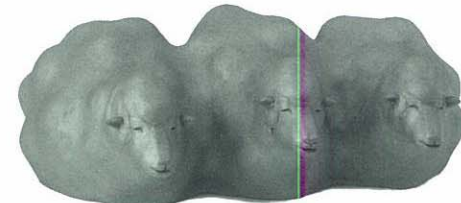
第5回日読売新聞社賞 / 大澤実織



第5回大賞(グランプリ) / 逸見幸也



第5回伝統技術優秀賞 / 服部秋彦



第5回現代陶芸優秀賞 / 横田千明

きりとり線